

上北沢桜並木通信 第 12 号

上北沢駅周辺が「路上禁煙地区」に指定されました

平成 19 年 3 月 1 日から、上北沢駅周辺が「路上禁煙地区」に指定されました。

3 月 4 日（日）記念式典が行われ、松陰高等学校ブラスバンドによるパレードが上北沢桜並木、上北沢商店街などを練り歩きました。

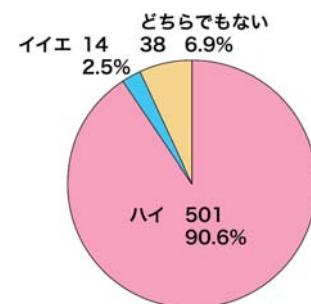
平成 17 年 2 月頃、桜並木会議会合で「桜並木は歩行者を中心とした道路にしたい」という提案が出され、その一環として、世田谷区で実施され始めた「路上禁煙地区」に指定できないだろうかといった意見が出ました。

平成 17 年 5 月 10 日 第 11 回定例会議で区環境計画課堀川課長、大坪係長をお呼びし「世田谷区ポイ捨て防止等に関する条例¹」など、区の見解に関する説明をしていただきました。そこで、住民サイドの意見をまとめることが大切とのアドバイスをいただき、町会、商店会と広く連携して推進していくことになりました。

平成 17 年 4 月と平成 18 年 4 月に行った桜並木についての住民アンケートでは、ほぼ 9 割の人が「路上禁煙地区」に賛成ということでした。

その後、上北沢町会の新井会長や上北沢出張所の遠藤所長のリーダーシップで、平成 18 年 4 月「上北沢路上禁煙推進協議会」の発足となり、約 1 年をかけて京王電鉄や小学校、消防団を巻き込み、多くの話し合いやキャンペーンを行いながら、本年 3 月 1 日「禁煙地区」の指定にこぎつけることができました。

「路上禁煙地区」指定の実現は、住民が声を出すことが如何に大切であるかということを示しており、その声を、町会・



路上禁煙地区指定に賛成ですか
(平成 18 年 4 月実施)



小学生によって書かれた禁煙キャンペーンのペナント

商店会・行政が三位一体となり、形あるものに仕上げるという街づくりの基本作業の典型でした。

記念式典の式辞に、住民の絆を取り戻すことの大切さという話がありましたが、「住みよい街を取り戻そう」という声が住民の間で反響し、「住民の絆」をより硬いものにしたことこそ、上北沢の街づくりに大きな意味があったと考えます。「路上禁煙地区」の指定を受けたことも重要ですが、上北沢が本当にきれいな街になるかどうかはこれからにかかっています。

(上北沢桜並木会議 佐藤信二郎)

¹ この条例は、まちの環境美化について区、区民等、事業者等の責務を明らかにするとともに、空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止その他必要な事項を定めることにより、清潔できれいなまちづくりを推進し、もって区民の生活環境の向上を図ることを目的とする(第 1 条) —罰則はありません。

桜並木を見守って、3年間 – 花芽観察会を終えて

1月28日(日)花芽観察会が行われました。心配された雨もなく、花曇りの中、石井樹木医の巧みな会話と説明で和やかな雰囲気が進められました。参加者は39名。午後は場所を移して、観察会のまとめと「桜の毛虫」についてお話がありました。さらに、2月8日には、会員の有志による桜診断一覧の更新のための調査を詳細に行いました。

今回の観察会で3年目となる桜診断調査を機会に、過去のデータも分析した結果、下記のような変化と評価が得られました。A、B、Cのランク付けは、樹勢の状況を表したもので、Aランクが良好で何の問題もない樹勢状態。Bランクは問題があり対処中。Cランクは倒木や枯死の可能性があり、危険な状態を表しています。

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 桜木戸籍数 : | 51 戸籍 |
| 2. 樹木数 (2月8日現在) : | 48 本 (A, B, C ランク 樹木 合計) |
| 3. A ランク : | 28 本 |
| 4. B ランク : | 17 本 |
| 5. C ランク : | 3 本 |
| 6. 倒木及び枯死による伐採 : | 3 本 |
| 7. 3年間でB及びCにランク下げした桜木 : | 7 本 |
| 8. 3年間でA及びBにランク上げした桜木 : | 4 本 |

この3年間の桜維持管理の中で、特に目に見えて変化があったことは、続けてきた胴巻きをはずしたことです(当初12本に胴巻きあり、内8本の胴巻きを撤去した)。不定根が育って、世代の交代が行われています。



不定根
の成長



2005年9月 胴巻きを撤去

しかし、桜並木は全体に弱っています。上記のように3年間で病気や害虫によって枯れ死し、倒木または伐採した桜木が3本あり、BやCのランクに下がった桜木がランク上げた桜木よりも、倍近く多くなっています。特に、この1年間で確実に元気がなくなっている桜木が増えているということです。

●考えられる3つの要因

1. 上北沢の桜並木は80年たち、桜木の老化が進んでいる。
2. 「ナラタケモドキ²」というきのこが発生し、土壌汚染と菌の拡散がある。
3. 車による排気ガスと車による衝突や傷によって、桜木が弱っている

1. については、確かにソメイヨシノ寿命60年説というのがあるぐらいで、寿命が原因で多くの問題が出ていると思われます。しかし、私たちの桜並木では「不定根」による世代の交代が既に行われ、成功している桜木が多くあります。青森県弘前城の桜はソメイヨシノでも120年以上生きています。

2 <ナラタケモドキ>が発生すると多くの樹木が、枯れ死する可能性が大きい。これまでの道や建物の工事で根を切ってしまったため、そこからナラタケモドキというキノコの菌が根に入り込んで、根を枯らしています。このキノコの菌は、木が成長している形成層(樹皮のすぐ下)を食べていくので、木にとって一番大切な、生きている部分がダメになってしまうのです。この菌が入って形成層を食べつくしてしまうと、その後から木の中の方の芯材を食べる新たな菌が侵入し、最後にはスポンジのようなドロドロ・スカスカの状態になってしまいます。

ソメイヨシノの寿命は人間が少し手を貸してやることで、自らの生命力で新しい世代に代わっていくことが実証されています。

2. については、土壌改良などによる樹勢回復の方法がいろいろ考えられていますが、決定打はなく、とても困難な仕事です。ナラタケモドキが発生する原因には、建物が迫って日陰を作っていること、工事等で根を傷つけられ菌が入り込むことが考えられます。「コスカシバ³」の幼虫によって幹につけられた傷からも菌が入ります。そして、腐食します。腐食したり、弱っている桜木にはきのこができて木を枯らすのです。

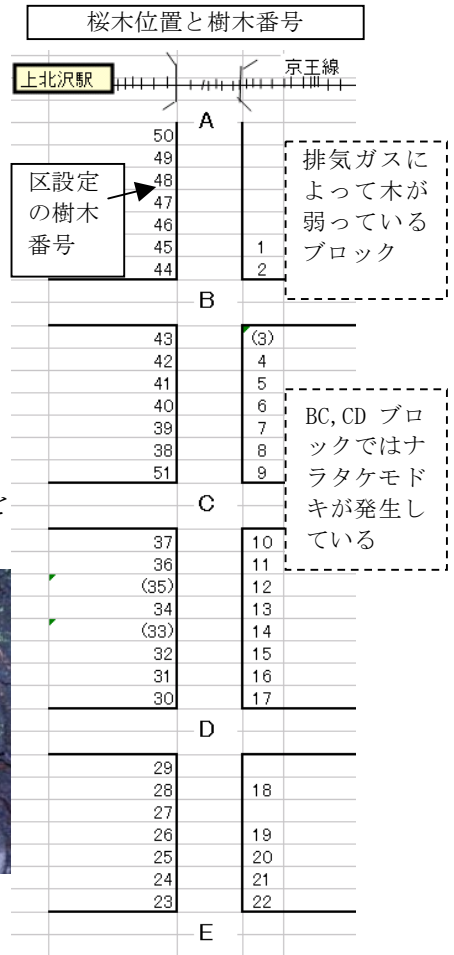
当面枝切りを行いながら、樹勢回復が自力で行われるのを見守る他ないでしょう。



写真左：2004年9月伐採した切り株とナラタケモドキ



写真右：2006年11月に発生したナラタケモドキ



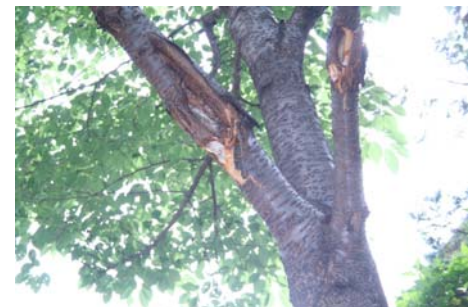
3. についての原因は人間が影響を及ぼしていることなので、何とかしたいものです。

AB ブロックは車幅がほかの車道よりも広く、商業車や一般車がいつも駐車しています。しかも、アイドリングしながら人を待ったり、仕事を済ませているようです。このときの車から出る排気ガスによって桜は弱っていきます。車寄せでは、車は桜木に衝突します。

ソメイヨシノはデリケートな樹木で、根ばかりでなく幹の木肌で呼吸しているので、排気ガスを桜木に吹き付けられると桜木は呼吸できなくなって窒息するのです。車による衝突では、傷を受けた桜木の木肌から菌が入り込みます。桜の直径 5cm 以上の桜の枝を切れば、そこから菌が入り込み、枝は腐食するのです。

車による、桜木への被害は相当なものと考えerべきです。毎月 48 本のどれかの桜木が傷つけられています。昨年 10 月には、引越しの車が直径 20cm の大枝をもぎ取るという事件が起きました。

桜並木を守るということは、その住む環境を良くすることにつながります。車の桜木への衝突や排気ガスは人間が原因です。これは、私たちの住む環境がそれだけ悪くなっているということです。環境問題とか、温暖化の論議をするのも大切ですが、もっと身近な出来事に目を向けていくことで、私たちの街も少しは住みよい街になっていくと考えます。



車によって傷つけられた枝

(上北沢桜並木会議 佐藤信二郎)

3 サクラ、ウメ、リンゴなどの幹や枝に食い入るイモムシ(幼虫)。最大長約 25mm。体は淡い茶色。頭部は茶色。被害部位にはヤニや糞がみられる。公園や街路樹などで多発することがある。(原色樹木病害虫図鑑)

松沢病院の整備について上北沢町会主催の説明会が行われました

去る3月10日（土）上北沢町会主催の「松沢病院の整備について説明会」が実施されました。松沢病院の整備とは、平成17年7月に施行された法律「医療観察法」にしたがって推進されている『心神喪失などの状態によって、重大な他害行為（殺人、放火、強盗、強姦、強制わいせつ）を行った患者の病棟建設』を行うことでした。

集まった住民の方々は、予想を超える100名以上となりました。病院側の出席者は7名、都側からは3名の出席者でした。新井町会長の司会で始まり、前回と同じ映像を使った説明によって建設目的や建設予定の概要の説明が行われました。その後、住民との質疑応答になりました。冒頭から荒れ模様で、最終質問者まで、明快な回答は得られず平行線のまま会議は終わりました。

集まった住民からは、「このような重大な問題についての集会だと知らなかった」「都側の誠実な説明が無い」「これからどうなるのか不安」など感想を述べながら帰途についていました。今後の都と病院による誠意ある説明の必要性を痛感した次第です。

「桜祭り」のお知らせ

恒例の「桜祭り」が3月31日（土）、4月1日（日）に行われます。上北沢桜並木会議も出展し、パネル展示や、Tシャツ、ゴルフ菓子、桜並木キャラクター入りファイル、絵葉書、冠バッチなどの販売を行います。是非皆さんお立ち寄りください。

石井樹木医の講座のお知らせ

上北沢桜並木会議の観察会や実態調査でお馴染みの石井誠司 樹木医が＜NHK文化センター＞（青山教室 03-3475-1151）で4月からスタートの現地講座に講師として登場します。講座名は、＜樹木医と歩く「楽しい花散策」＞



影絵をじっくりご覧になりたい方へ

石井昭さんの新作です。3月27日から4月15日まで浅草のテプロ浅草館にて＜浅草下町展＞が行われ、石井昭さんの影絵が展示されます。テプロ浅草館へは、東京メトロ銀座線田原町駅下車7分です。

テプロ浅草館：台東区西浅草2-27-7。Tel：03-4463-8422

上北沢桜並木会議とは？

上北沢の桜並木は、開花時期の美しさもさることながら、季節ごとの変化は見る人の心を癒し、地域にとって誇れる将来に残したい財産となっています。しかし、この桜並木は近年弱りはじめています。この貴重な財産を残すためには、地域のいろいろな人々の意見や知恵を集め、具体的な活動をはじめなければなりません。

上北沢桜並木会議は、並木の維持保全に住民と行政の協働で取り組むとともに、これをきっかけとして地域のまちづくりを考え、「桜を見守るコミュニティ」をつくっていかうという取り組みです。

お問い合わせ：info@sakuranamiki.org

連絡先：和田和典 3302-6959 佐藤信二郎 3290-2660

- 桜並木会議では、会員の数を増やし、地域コミュニティの創生を考えています。桜並木会議が行う行事・ミーティング等に、是非ご参加下さい。
- 桜並木会議では、活動資金のご協力をお願いしています。
- 桜並木会議の活動状況は、HP (<http://www.sakuranamiki.org/>) に出ていますので、ご覧下さい。